

令和 1 年 11 月 22 日  
日本政策金融公庫  
新潟支店

## 大倉漁業株式会社の海外まき網漁船建造を協調融資で支援 ～当社初の 760 t 型大型船を建造～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）新潟支店及び第四銀行住吉町支店は、大倉漁業株式会社（新潟市中央区、大倉心一社長）が建造した第 38 常磐丸の建造資金を協力して支援しましたのでお知らせします。

なお、第 38 常磐丸は、10/16 に竣工し、11/23 に焼津港から中西部太平洋の漁場に向けて初出漁予定です。

### 《ポイント》

#### 1. 当社初の 760 トン型大型漁船を建造

大倉漁業(株)は、国内の海外まき網漁船 28 隻のうち 3 隻を保有する、日本有数の海外まき網漁業者です。海外まき網漁業は、中西部太平洋を主な操業海区とし、カツオ・キハダを主体に漁を行っています。国内鰹節の原料の約 7 割を供給しており、日本の伝統的食文化の重要な役割を担っています。

しかし、近年の同漁業の情勢は、大型化・増隻が続く外国まき網漁船との競争の激化、入漁料の価格高騰等により、非常に厳しい環境下に置かれています。

そこで、大倉漁業は漁業構造改革総合対策事業（もうかる漁業創設支援事業）を活用し、平成 30 年度に策定された「海外まき網漁業長期代船建造計画※」に基づき、当社としては初の 760 トン型の海外まき網漁船を静岡県静岡市の(株)三保造船所にて建造しました。

※高性能化、居住環境の改善、安全性の向上等を図った代船の建造を計画的に進めるため、漁業者団体が代船のための長期的な計画を示したものです。計画に位置付けられた漁船は、共通船型・共通仕様を用いることにより、建造コストを削減できるほか、工期が短縮される等のメリットがあり、来年にかけて、更に 2 隻の建造が予定されています。

#### 2. 長期代船計画に基づく第 1 号船として建造

第 38 常磐丸は、長期代船建造計画に基づく共通船型・共通仕様による第 1 号船です。船体を従来の 349 トン型から 760 トン型へ大きくすることで、魚艙（冷凍庫）容積の拡大、ヘリコプターの搭載・活用が可能となり魚群探索能力が飛躍的に向上し、資源配慮した操業効率化と国際競争力を兼ね備えた大型船となっています。あわせて、船員の安全性の向上はもとより、居住空間の拡大、最新の衛星インターネット回線を利用することで、船内 Wifi 環境を整備、生活環境にも配慮し、労働環境の改善を図っています。

### 3. 日本公庫・第四銀行が連携して支援

日本公庫新潟支店及び第四銀行住吉町支店は、大倉漁業のこれまでの事業内容や今後の経営戦略のほか、本事業が地域水産業並びに地域経済へ与えるインパクトを評価し、同船の建造構想初期段階から相談に乗り、新船建造に係る設備資金を協調融資にて支援しました。

日本公庫及び第四銀行は、今後も連携・協力しながら、引き続き、意欲あるお客様の経営発展を支援し、地域経済への貢献に取り組んでまいります。

#### 【融資先の概要】

|       |               |
|-------|---------------|
| 企 業 名 | 大倉漁業 株式会社     |
| 代 表 者 | 大倉 心一         |
| 住 所   | 新潟市中央区万代島 2－7 |
| 連 絡 先 | 025-247-7341  |

〈本件に関するお問い合わせ先〉

日本政策金融公庫 新潟支店 農林水産事業 TEL 025-240-8511（担当：辻元）

〒950-0088 新潟市中央区万代 4－4－27 NBF 新潟テレコムビル 3 階



（写真：第 38 常磐丸）